

2022年 中高生政策アイデアコンテスト
第9回かのや100チャレ

テーマ② 新名物でイメージアップ！ 鹿屋市の尖ったお土産を創りだせ

こい

ぱち

「恋するカン八」

東海大学付属高輪台高等学校 高輪三銃士（女子）
石野実咲（高3） 榎並叶笑（高3） 森柚結奈（高3）

目次

- 1 商品のコンセプト
- 2 提案する商品
- 3 販売戦略
- 4 お土産とかのやの未来

商品のコンセプト

「らしさ」をいかした
親しみやすい商品に

コンセプト

鹿屋の土産＝「〇〇！！」と言える物がない

バラの香りや花びらを練りこんだお菓子や
黒毛和牛を使用したレトルトカレー、ごぼう茶など…
オリジナルの商品はたくさんあるが、いずれも定着していない



「親しみやすさ」と「鹿屋らしさ」が欲しい
誰もが手に取りやすく、ユーモアのある商品に

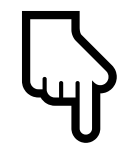


コンセプト

鹿屋市特有の「食」「自然」「歴史」などの資源を活かしたもの

鹿屋の特産品といえば？

和牛、黒豚、養殖カンパチ、さつまいも、お茶、落花生、バラ...など
素材が豊富で、独自のブランド認証を受けている商品も数多くある



選別の際に発生した「**規格外商品**」を利用した商品にしたい
SDGsの課題である食品ロスの削減にもつながる



12 つくる責任
つかう責任



商品名

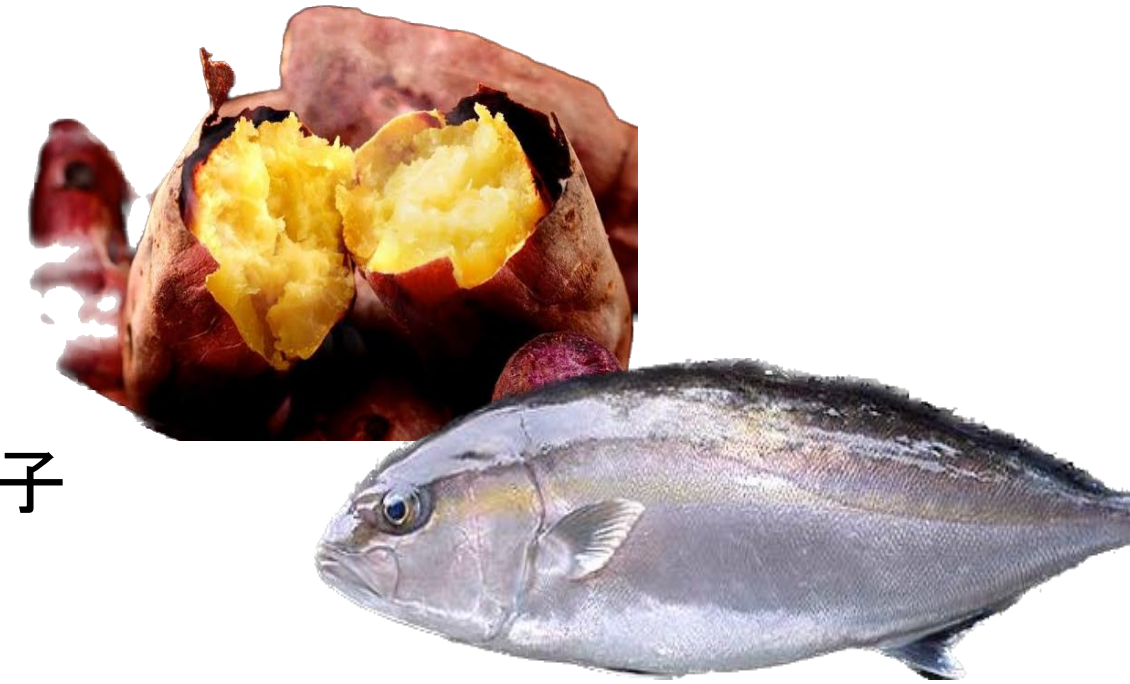
こい ぱち
恋するカンパ

商品イメージ

モチーフはかのやカンパチ

和菓子の「若鮎」から着想を得たデザイン

若鮎とは...カステラ生地で求肥を包んだ、若鮎をモチーフにした和菓子

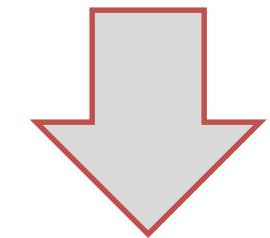


《形状》

鹿屋市の特産品である**カンパチ**をモチーフに使用

《中身》

求肥ではなく、鹿屋市特産の**紅はるか**を使用した餡を包む



👉 2つを掛け合わせることで「**鹿屋らしさ**」を表現！

レシピ

材料

★生地

卵	2個
砂糖	80g
みりん	小さじ1
ハチミツ	大さじ1
水	カップ1/4
薄力粉	120g
重曹	小さじ1/2

★餡

紅はるか	350g
砂糖	150g
西京味噌	15g

手順

★生地

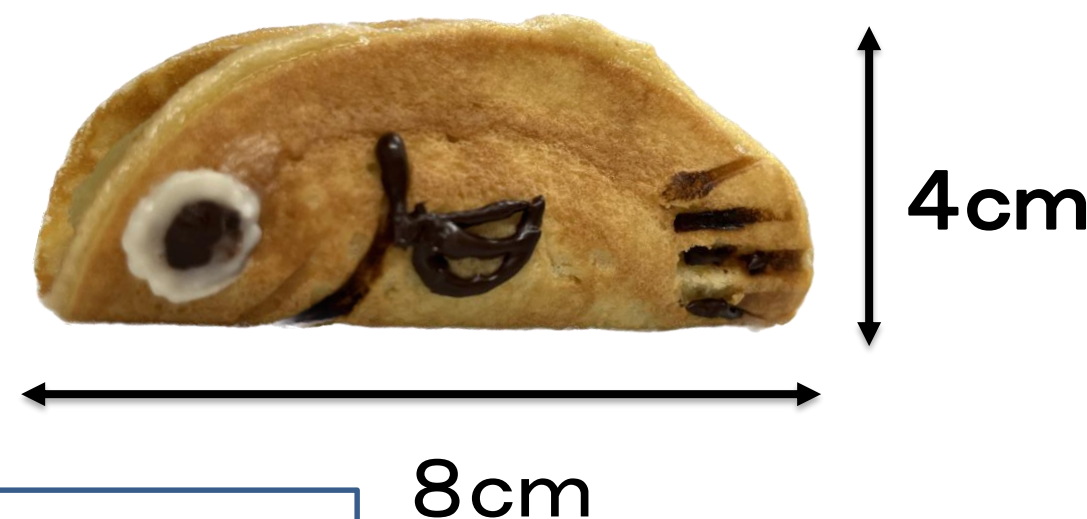
- 1 卵に砂糖を加え混ぜる
- 2 さらにみりん、はちみつ、水を加えかき混ぜる
- 3 重曹を加えてふるった薄力粉を滑らかになるまで少しずつ加え混ぜる
- 4 冷蔵庫で30分ほど寝かせる

★餡(300g)

- 1 芋の皮をむき、茹でて潰す
- 2 熱いうちに砂糖を加えて
- 3 火にかけて味噌を加え練り上げる

★仕上げ

- 1 出来上がった生地を鉄板で、8×10cmになるように薄く焼く
- 2 焼きあがった楕円の生地に20gの餡を包む
- 3 焼きごてなどで模様をつける



商品のネーミング



名前の由来

『恋するカン八』

お菓子のモチーフである**カンパチ**が**紅はるか**の餡を優しく包む様子から**男女の恋を連想**
イメージキャラクターは**カン八くん**と**はるかちゃん**

餡に使用する素材を**カン八くん**が恋に落ちる相手として設定し
新たなフレーバーを考える際に、ストーリーを展開していく



👉 ストーリー性のある商品にすることで「**親しみやすさ**」が生まれる！

新商品の販売戦略

ターゲットはビジネス客を中心に！
心理効果を利用して知名度アップ

ターゲット

ターゲットはビジネス客

鹿屋市における宿泊者は**ビジネス客が中心**
観光客の割合は推計で**2割**程度

観光客にとってお土産選びは**ゆっくり時間をかけるもの**
たくさんの中から迷いながら選ぶのは、楽しい旅の醍醐味！

しかし、ビジネス客の多くは時間がなく
帰りに立ち寄った場所で間違いないと思える物
会社や家庭に持ち帰った際に「**失敗しないおみやげ**」をすぐに買いたい

👉 販売方法に着目し、「**時短**」を目指す！



販売場所

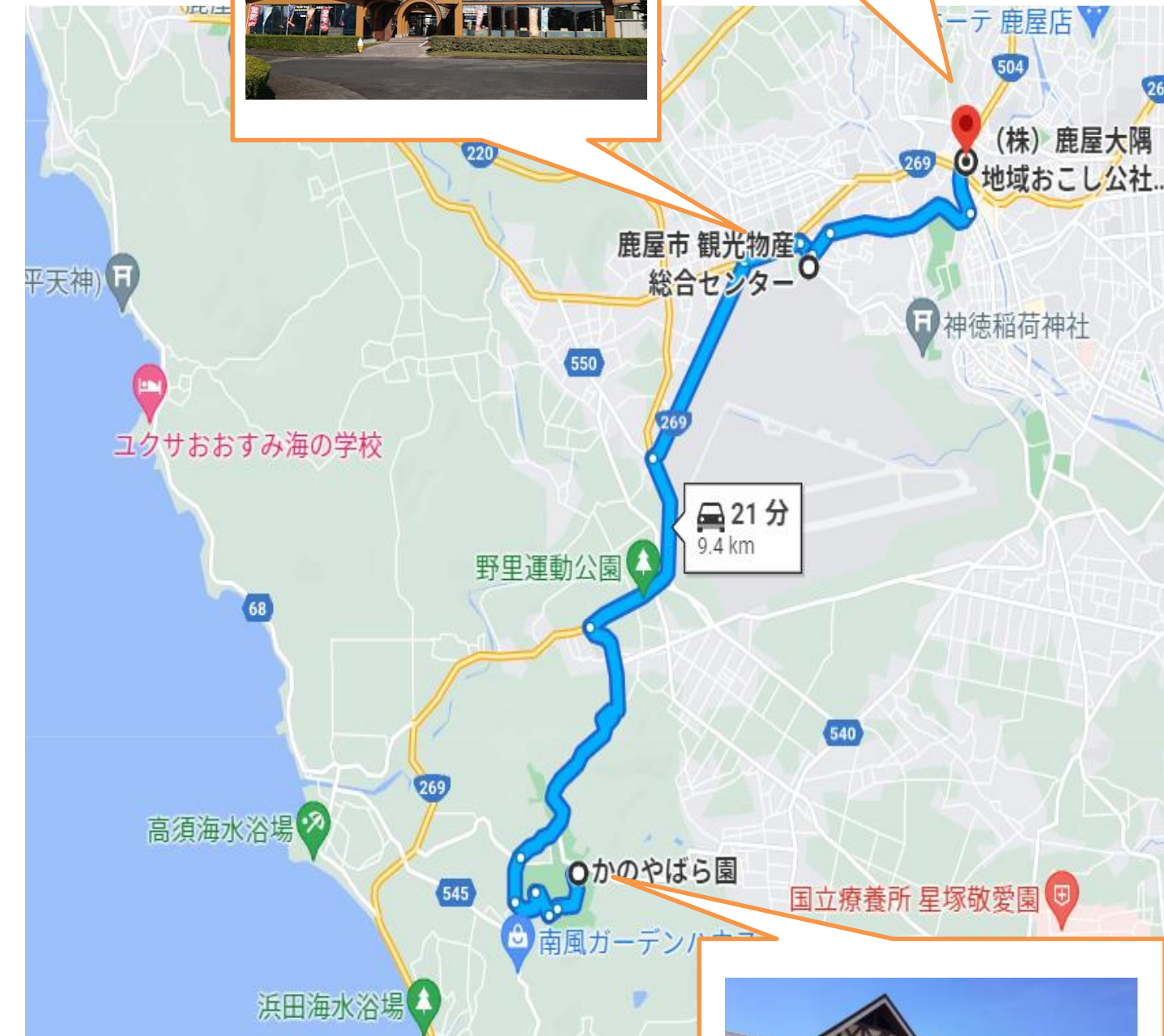
「レジ横」の個包装買いから「箱買い」へ

宿泊施設での販売はほとんどされていない
⇒**ビジネス客が購入しにくい環境**

観光総合物産センター、かのやばら園、
地域おこし公社などで販売されている
しかし、それぞれの**販売拠点が点在**している

観光客向きのみで、ビジネス客に広く知れ渡る環境ではない
ビジネス客の「**ついで買いの心理**」効果を利用する

宿泊先やお店の「**レジ横**」に置いてあるものをふとカゴに入れてしまう
レジ横での個包装を、知ってもらうきっかけにすることで
最終的に…帰宅途中の空港などで目にして箱買いしてもらう



価格について

販売価格



10個入り 1,800円



箱詰め10個入 1,760円
箱詰め15個入 2,550円



5個入り 756円(税込)

現在人気のお土産お菓子の値段及び個数より
箱詰め価格1個当たり**150～180円**が妥当なラインと思われる
個包装にはプラスチック代替品を使用。

実際に商品を作ってみて、ざっくりと計算したところ

原価:80円

利益率:50%とすると

売値:160円となった

箱代を含めると、**10個入りで1800円**となる

販売だけでは終わらせない

お土産と紡ぐ
かのやの未来

まずは地域の人に

デザインコンテストを開催

地域の人を対象にパッケージデザイン
ストーリー、キャラクターデザインなどの**アイデア**を募集

対象年齢は**小学生から大人**まで
より多くの地域の人に商品を知ってもらうきっかけに



🏠 地域の人がお土産づくりに参加することで**地元から愛される**お土産に

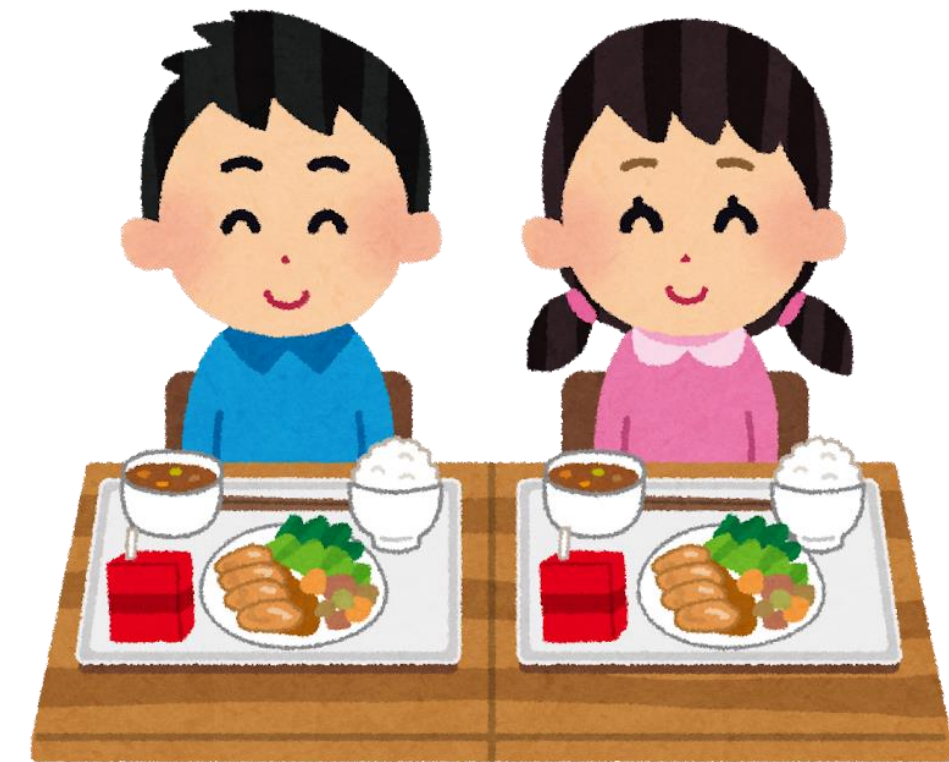
商品のコンセプトである「**親しみやすさ**」と「**鹿屋らしさ**」をより濃いものにしていく

子供たちのために

お土産を給食で提供

給食で特別メニューとして提供することで…

- 商品の**安心・安全性**をアピール
- 子供たちが地元をより**理解するきっかけ**に
- 商品を通じて**SDGsの取り組み**を学んでもらう



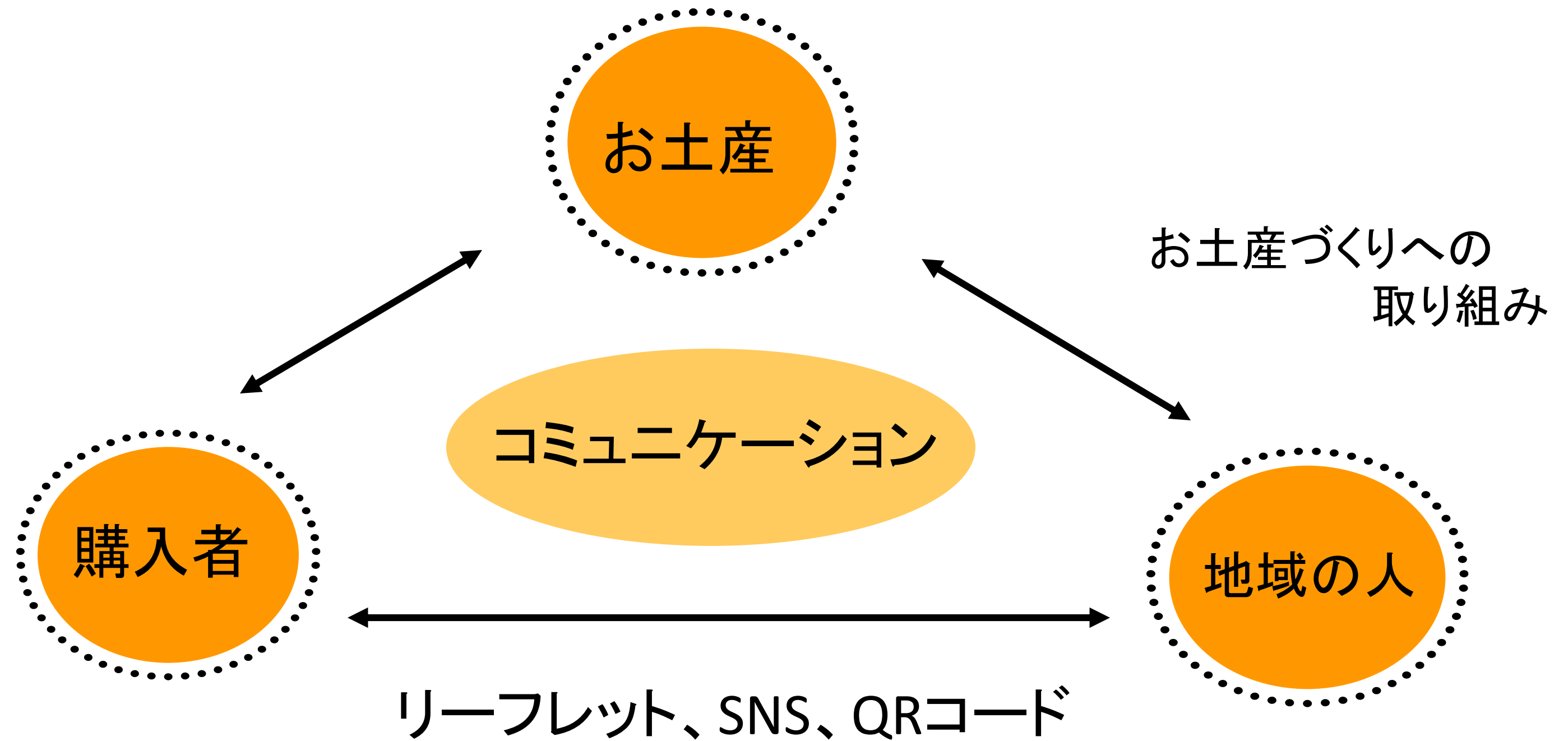
🏠 成長した子供たちに、この先も思い出してもらえようようにしたい



一方通行で終わらない

お土産でつくる
コミュニケーションサイクル

コミュニケーションサイクル



ご清聴ありがとうございました！



*thank
you!*